

【1】太郎君は学校の授業で行ったフィールドワークのレポートを作成した。次のレポートを読んで、以下の問いに答えなさい。

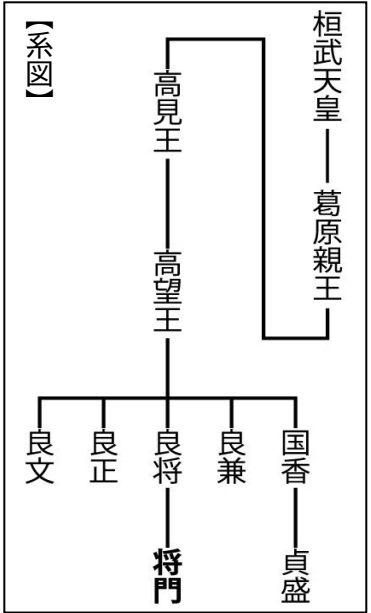
レポート1

最初に村岡御霊神社に行きました。
ここは桓武天皇の四代目子孫とされる
(a)村岡五郎が、京の(b)御霊宮を勧請し
たのが始まりと伝わる由緒ある神社で
す。正面の石碑には、多くの祭神が記
載されていました。



御霊神社
御祭神 本殿五座
崇道天皇 光仁天皇第二皇子早良親王
権五郎景政
葛原親王
高見王
高望王

由来沿革
御祭神崇道天皇は桓武天
皇が御宇延暦十三年五月
現在の京都市に御霊宮と
して祀り給い其の後村岡
に五郎良文公が住し天慶
三年に勧請し戦勝祈願を
なしたるを初めとす
のち鎌倉権五郎景政を合
せ祀り二柱たりしが北条
時頼の命により 葛原親
王 高見王 高望王の三
柱を加え県下に十三の分
社あり
その後村岡五ヶ村総鎮守
として現在に至っている



- 問1 下線部分 (a) に関する説明として、右の系図も参考にしながら適切なものの組み合わせを選び、記号で答えなさい
- ① 彼の氏は「平」であり、父の代に臣籍降下した。
 - ② 「将門」は息子であり、坂東の争乱では国香と敵対した。
 - ③ 子孫は土肥氏や三浦氏など関東周辺の八大有力武士団と称された。
 - ④ 彼の祖父は皇位継承権を持っていた。

ア. ①-③ イ. ①-④ ウ. ②-③ エ. ②-④

- 問2 下線部分 (b) についての説明文を読んで、正誤の組合せとして適切なものを選び、記号で答えなさい。
- ① 御霊信仰に基づき、ある人物の御霊・怨霊を鎮めるために創建されたものである。
 - ② 神殿の横に建立されている御祭神の舍利殿には、国宝となる厨子が安置されている。

ア. 正-正 イ. 正-誤 ウ. 誤-正 エ. 誤-誤

- 問3 村岡御霊神社の由来沿革から分かることとして適切なでないものを選び、記号で答えなさい。
- ア. 村岡地区の重要な鎮守として、近隣で尊崇を集めている。
 - イ. 崇道天皇は桓武天皇より前に即位した天皇である。
 - ウ. 北条時頼の命により、葛原親王、高見王、高望王が追加で祀られた。
 - エ. 将門の乱に関係して、戦勝祈願が行われた。

レポート 2

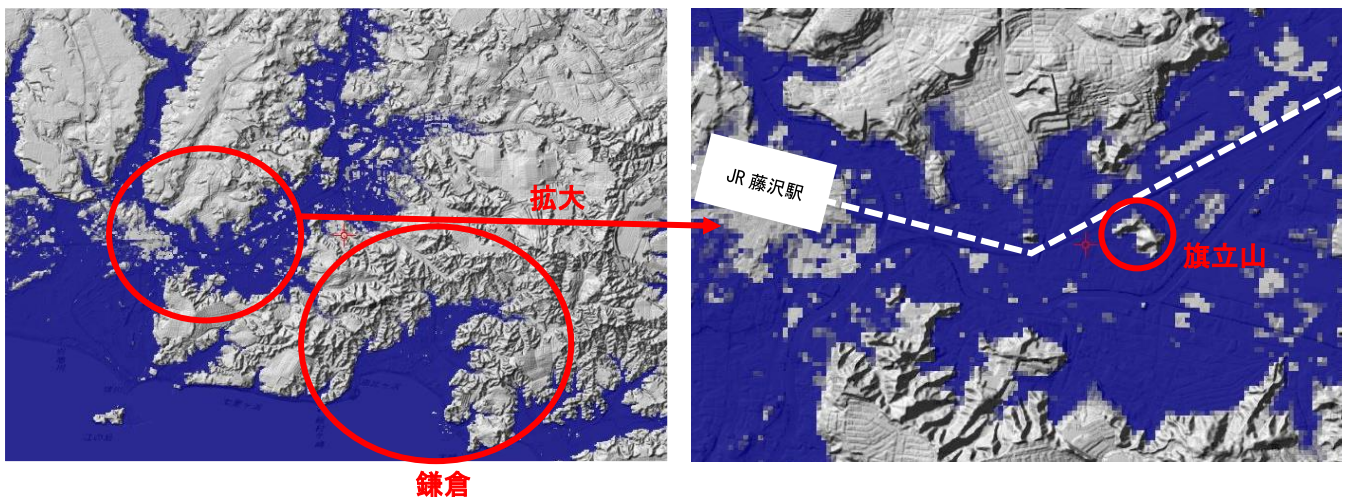
御霊神社の東側の山は旗立山と呼ばれ、1051 年に が前九年合戦に出陣する際に源氏の白旗を立てて軍を集めたという(c) 伝承が残っています。のちに、 の子である が 1083 年に後三年合戦に出陣する際にも、ここで白旗を掲げたと伝わっています。山というより小さな丘に近いですが、上に登ると少し平坦な広場があり、当時の伝承を想像することができます。地形から想像するに、この山は元々北側の丘陵地帯から伸びる台地の突端に位置していたように思われます。

問 4 空欄 と に当てはまる組合せとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. A 源頼光 B 源為義 イ. A 源頼光 B 源義家
 ウ. A 源頼義 B 源為義 エ. A 源頼義 B 源義家

問 5 レポート 1、2 と写真から推測できる内容として適切でないものを選び、記号で答えなさい。

写真 (JAXA の海面上昇シミュレーターより、2023 年現在の地形から海水面を 20m 上げた形に加工したもの)



- ア. 鎌倉は南以外の三方を山に囲まれていることから、後に鎌倉七口と呼ばれる切通しが作られたことが推測される。
 イ. 近代に入り台地の先端に沿って鉄道が敷かれ、必要に応じて山が掘削されて鉄道の通路が確保されたことが推測される。
 ウ. 村岡御霊神社が創建される前には、旗立山が既に源氏の勢力下に入っていたことが推測される。
 エ. 縄文海進が進んでいた時代は、藤沢の奥深くまで海岸線が後進していたと推測される。

問 6 地図の周辺に來た可能性が最も高い人物として適切なものを、以下より選び記号で答えなさい。

- ア. 安倍貞任 イ. 藤原秀郷 ウ. 藤原純友 エ. 源頼信

問 7 下線部分 (c) より後の世の中的情勢を記述した文として、適切なものを以下より選び記号で答えなさい。

- ア. 中国では唐が滅んで宋が建国された。
 イ. 平泉では中尊寺金色堂が建立された。
 ウ. 比叡山では源信によって往生要集が書かれた。
 エ. 都では紫式部によって源氏物語が書かれた。

レポート 3

最後に、山の裾野を通る鎌倉街道を歩きました。鎌倉街道とは幕府のある鎌倉と地方とを結んだ幹線道路の総称で、幕府の御家人が「いざ鎌倉」と馳せ参じるために整備されたものだそうです。鎌倉街道には『上道（かみつみち）』『中道（なかつみち）』『下道（しもつみち）』と呼ばれる3本があり、(d)私が通った道は鎌倉から化粧坂切り通しを越え、村岡を通過して戸塚から瀬谷、町田を通り、最終的には上州高崎から碓氷峠を越え信濃にまで続いていたそうです。C が鎌倉を攻め落とす際の進路の一つとなり、周辺で激戦が繰り広げられたと記録にありました。

問8 下線部分 (d) の示す道と C に入る人物組み合わせとして適切なものを、以下より選んで記号で答えなさい。

- ア. 道-甲、C-新田義貞
イ. 道-乙、C-新田義貞
ウ. 道-丙、C-新田義貞
エ. 道-甲、C-足利尊氏
オ. 道-乙、C-足利尊氏
カ. 道-丙、C-足利尊氏

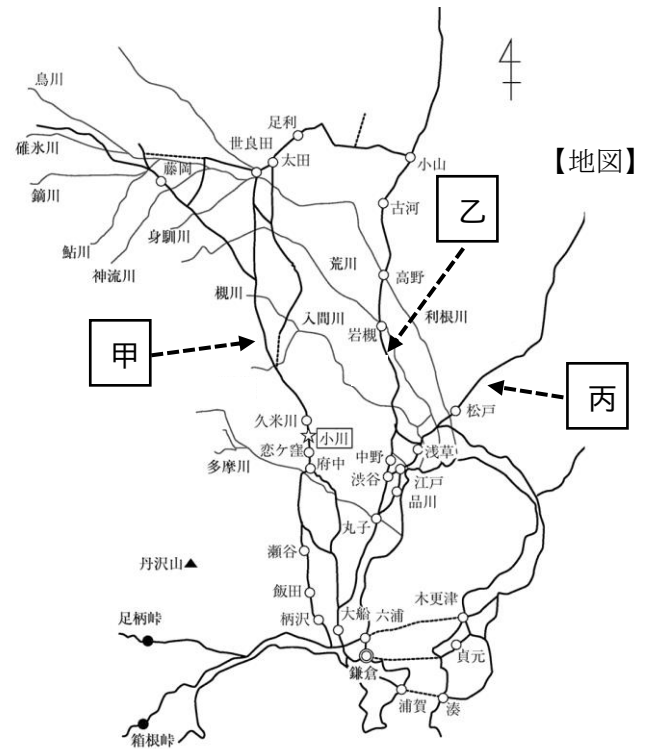
問9 古代の街道を説明した文を時代の古い順に並び変えたものとして適切なものを、以下より選び記号で答えなさい。

- ① 中央を中心として五街道や脇街道が整備され、街道沿いには一里塚や渡船場が整えられていく中で、宿場町が栄えていった。
- ② 兵の移動や物資の輸送のための交通路として利用され、地域の境界には関所が設けられて人々から通行税が徴収された。
- ③ 中央から諸国へ伸びる駅路が整備され、約 16 kmごとに駅家が設けられる駅制が敷かれた。

- ア. $① \rightarrow ② \rightarrow ③$ イ. $② \rightarrow ① \rightarrow ③$ ウ. $① \rightarrow ③ \rightarrow ②$
エ. $② \rightarrow ③ \rightarrow ①$ オ. $③ \rightarrow ① \rightarrow ②$ カ. $③ \rightarrow ② \rightarrow ①$

問 10 古代における【地図】の地域のことを説明した文として、適切なものを以下より選んで記号で答えなさい。

- ア. 五世紀につくられた前方後円墳から獲加多支鹵の銘が刻印された鉄剣が出土した。
- イ. 壬申の乱の際には、豪族たちが大海人皇子を支援する拠点となった。
- ウ. 渤海使を迎え入れるための迎賓館として、松原客院が設置された。
- エ. 水城や朝鮮式山城が構築されたり、防人が配置されたりするなど、防御設備が整備された。



【解答】 問1. ア 問2. イ 問3. イ 問4. エ 問5. ウ
 問6. エ 問7. イ 問8. ア 問9. カ 問10. ア